※令和４年度以降入学生用

学校番号	3028

令和５年度　教育文理科

教科	教育文理	科目	英語探究Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	Vision Quest 論理表現Ⅱ Hope						
副教材等	Vision Quest 論理表現Ⅱ Hope Workbook 五訂版 基礎と発展 英語構文ワーク 100						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・日常的な話題や社会的な話題について考え、意見や主張、課題の解決策などを工夫して伝える力を身につける授業です。間違いを恐れず、積極的に英語でのコミュニケーションを行いましょう。
・活動の中で、自分の気付きや仲間の意見などをメモし、より良い方法を考えることや、振り返りに活用しましょう。

２　学習の到達目標

教育に携わるための見方・考え方を働かせ、英語での探究活動を通してよりよく課題を発見し、身につけた資質・能力を活用して、解決していくための力を次のとおり育成することをめざす。

（１）英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、探究によって、課題を見出し、目的や場面、状況などに応じて、学んだ内容をよりよく伝え、表現するための応用的な知識や技能を身につける。
（２）課題の考察や活動の振り返りを通して、自分の意見や考えを論理的に英語で表現したり伝えあったりする応用的な力を身につける。
（３）活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、国際社会における教育に対する新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、探究によって、課題を見出し、目的や場面、状況などに応じて、学んだ内容をよりよく伝え、表現するための応用的な知識や技能を身につけている。	課題の考察や活動の振り返りを通して、自分の意見や考えを論理的に英語で表現したり伝えあったりする応用的な力を身につけている。	活動に主体的･協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、国際社会における教育に対する新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度がみられる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	Lesson1 主語 Lesson2 動詞 Lesson3 時制 完了形 Lesson4 助動詞 Lesson5 形容詞的用法	・自分の興味関心などについて紹介する。 ・内容を深めるための質問をする。 ・わかったことをワークシートにまとめて、他のクラスメイトにわかりやすく紹介する。	a:適切な英語の語彙や表現を用いて、自分の興味関心について紹介する。相手の紹介を聞いて内容を深めるための質問のやりとりを行うことができる。 b:それぞれの活動で得た情報を英語で伝える相手にわかりやすく整理して伝えることができる。 c:互いのよさを尊重し、活動に主体的・協働的に取り組むことができる。	ワークシート 発表 観察	ワークシート 発表 観察	観察 振り返りシート
2	Lesson6 関係詞 Lesson7 副詞 副詞句 Lesson8 話法・伝達表現 Lesson9 仮定法 Lesson10 数量を表す表現	・海外の学校生活についてテーマを1つ設定し、グループで調査を行い発表する。 ・評価や質問をもとに、振り返り、改善点や自己の課題を考察する。	a:適切な英語の語彙や表現を用いて、自分の興味関心について紹介する。相手の紹介を聞いて内容を深めるための質問のやりとりを行うことができる。 b:設定したテーマの調査に必要なデータとその収集の方法をよく考察し、得た情報を英語で伝える相手にわかりやすく整理して伝えることができる。 c:評価や質問をもとに振り返り、改善点や自己の課題を考察することができる。	発表 ワークシート 観察 振り返りシート	発表 ワークシート 観察 振り返りシート	観察 振り返りシート
3	Lesson11 原級 比較級 最上級 Lesson12 否定 パラグラフリーディング 要点要約 プレゼンテーション ディスカッション	・日本と海外の学校生活を比較し、それぞれの良さについて考察しながら、桜和高校の学校生活をよりよいものにするにはどうすればよいかについてグループで調査を行って考察し、発表する。	a:調査した内容が効果的に伝えるための英語の表現や語彙が身についている。 b:設定したテーマの調査に必要なデータとその収集の方法をよく考察し、得た情報を英語でわかりやすく整理して表現することができる。 c:互いのよさを尊重し、活動に主体的・協働的に取り組むことができる。評価や質問をもとに、振り返り、改善点や自己の課題を考察することができる。	発表 観察 振り返りシート	発表 観察 振り返りシート	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度